

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年10月3日

施設名	のいち動物公園	所管課名	土木部公園下水道課
-----	---------	------	-----------

## 1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 のいち動物公園協会	指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成21年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収</li> <li>2. 公園の施設及び物品の維持管理</li> <li>3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施</li> <li>4. 動物の飼育と展示</li> <li>5. 種の保存、自然保護、調査研究</li> <li>6. 県民やボランティア等との協働事業の推進</li> <li>7. 公園に関する要望及び苦情の処理</li> <li>8. 緊急対応体制の確立</li> <li>9. 清掃及び植栽管理</li> <li>10. 警備業務</li> </ol>		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><b>【公園全体】</b>                  面積: 19.9ha                  開館時間: 9:30~17:00                  休園日: 月曜日、12月27日~1月1日                  入園料: 大人450円(年間1,500円) 高校生以下無料</p>		
職員体制	プロパー職員: 23名、県派遣職員: 3名、嘱託・非常勤職員: 5名、臨時職員: 9名 合計: 40名		

## 2 収支の状況

単位: 円

		18年度(決算)	19年度(決算)	20年度(予算)
収入	県支出金	324,140,851	329,200,655	340,531,000
	利用料	29,463,750	26,308,560	31,657,000
	その他	1,014,553		761,000
	収入計 (a)	354,619,154	355,509,215	372,949,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	163,767,679	169,786,029	172,240,000
	人件費	190,851,475	185,723,186	200,709,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	354,619,154	355,509,215	372,949,000

### 3 利用状況

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	151,565	145,054	170,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 平成18年度のアンケート結果をふまえ、職員有志により将来計画を策定し、利用者の満足度の向上を図る指針を整備した。		
	○ その他 来園者の利用満足度の向上のために、動物の特性を生かせるように、展示内容や展示設備の設置に取り組んでいる。 また、繁殖による赤ちゃんの展示、給餌タイムの充実、掲示板を利用した動物情報の発信を行い、動物園の魅力を伝える努力をしている。 こども動物園の手洗い場に雨天時も濡れないようにテントを設置した。		

### 4 平成19年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	概ね事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていた。動物の飼育と展示では、新規動物の導入や、動物の繁殖による赤ちゃんの展示、来園者が生き生きとした動物の姿を間近で見られるように飼育や展示方法の工夫を行い動物公園の魅力を伝えている。 「友の会」や「のいち動物公園ボランティアーズ」と連携し、のいち動物公園の活動を理解し、情報発信やモニターの役割を担ってもらい取り組みを行っている。また、イベント開催時の協力や、ボランティアーズ主催のイベントも開催している。 また、教育の場としての役割を担い、職場体験や環境教育の場所として学校関係者との協働が進んでいる。
②利用者サービスの維持向上	動物の特性を生かした飼育や展示方法の工夫をし、来園者がいきいきとした動物の姿を間近で見学できるように努めている。 教育の場として、動物のふれあい教室やサンデースクール、職場体験や実習の受け入れ等、動物公園ならではの体験学習の場を提供している。 年間を通して、多彩なイベントを開催するとともに、新たな試みとして、「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を開催し、動物園の魅力の再開発に取り組んだ。 ただ、様々な取り組みを実施しているにもかかわらず、利用者増に結びつけるのが難しいので、着眼点を変えたり、外部からのアイデアの仕入れ等再考する必要がある。
③利用実績	来園者は前年度実績の96%弱にとどまったが、恒例の夜の動物園の入園者や年間入園券は昨年を上回る実績がみられた。 また、学校機関への訪問や特色あるイベントを実施し、子どもから大人まで楽しめる施設であることの広報活動に努力が見られる。 また、近隣の観光施設や観光団体と連携した利用促進の取り組みも行っている。
④収支の状況	入園料収入の大幅な減があったが、支出が予算より下回ったため、清算時に戻入があった。
総合評価	協定書及び事業計画に基づき適正に管理運営がされと認められる。 来園者の利用満足度の向上のために、将来計画の策定に取り組んだので、今後はその内容をどのように実践し、のいち動物公園に愛着をもってもらえるかをあらゆる角度から再考することが必要である。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの